

# 気候変動を踏まえた内水対策検討(案)

令和5年3月27日

令和4年度 第2回狩野川流域治水協議会

●狩野川流域では、令和元年東日本台風において、内水による家屋等の浸水被害が広範囲にわたって発生した。このため、狩野川流域治水協議会において「狩野川中流域水災害対策プラン」を策定し、県・市町と連携し対策を進めているところだが、今後、気候変動による大雨の増加に伴い、内水被害についても頻発・激甚化が懸念されることから、気候変動を踏まえた内水対策の検討が必要となっている。

## 令和元年東日本台風による浸水状況



## 新田・原木・長崎・四日町地区内水対策勉強会

狩野川水系流域治水プロジェクトに基づく内水対策に関して、伊豆の国市と函南町にまたがる新田・原木・長崎・四日町地区を対象とし、関係機関により検討を深め、対策内容の拡充を図るとともに、今後の気候変動を踏まえた抜本的な内水対策の検討を目的に開催。

### 【参加機関】

- ・国土交通省沼津河川国道事務所
- ・静岡県沼津土木事務所
- ・静岡県東部農林事務所
- ・伊豆の国市
- ・函南町



- 気候変動を踏まえた狩野川流域における内水対策の基本的な方針について検討する。
- 基本的な方針を踏まえ、各地区（内水対策ブロック）における気候変動を踏まえた具体的な内水対策について検討する。
- 具体的な内水対策の検討を踏まえ、アクションプランを見直すと伴に河川整備計画等へ位置付ける。

- 気候変動を踏まえた狩野川流域における内水対策の基本的な方針の検討
  - ・ 気候変動を踏まえた外力に対し、狩野川流域における長期的な内水対策について検討する。

気候変動影響評価・目標とする計画規模の検討



内水対策の基本的な方針の設定

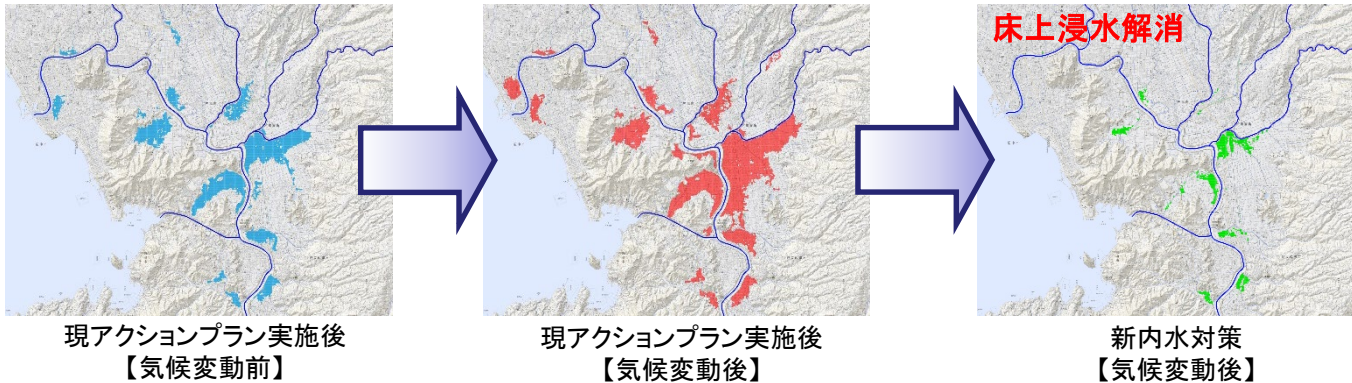
- 各地区（内水対策ブロック）における具体的な内水対策の検討
  - ・ 浸水の発生要因を詳細に分析し、排水機能の増加、河川・水路網の改修、貯留施設の整備等、各地区の被害軽減に効果的な施設配置を検討する。



内水対策アクションプラン見直し・河川整備計画等への位置付け

## 【狩野川流域における内水対策の基本的な方針】イメージ

例) 気候変動により新たに増加する内水被害に対し、床上浸水を解消することを目標とする。等



## 【各地区(内水対策ブロック)の内水対策】イメージ

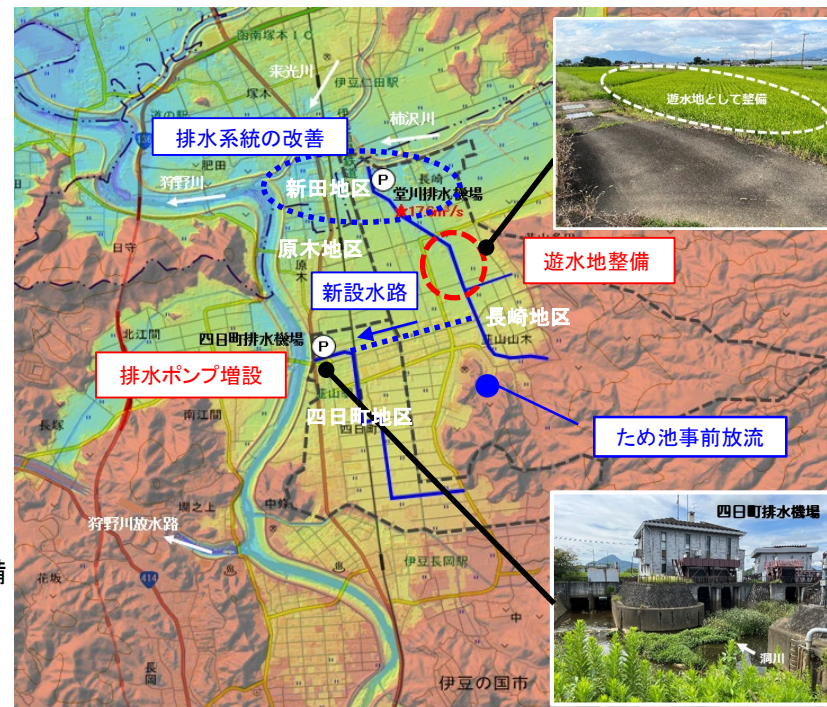
例) 新田・長崎・原木・四日町地区

- 気候変動を考慮し、令和元年東日本台風の浸水被害(仮)に対して床上浸水を解消することを目標とする。
- 地形上、この地区は、柿沢川左岸における排水能力を上回る内水が集まることにより浸水被害が拡大してしまうため、面的に複数の内水河川を一体的に対策することにより、できる限り、柿沢川左岸の堤内に集まる内水を減らす。

### 【施設整備メニュー】

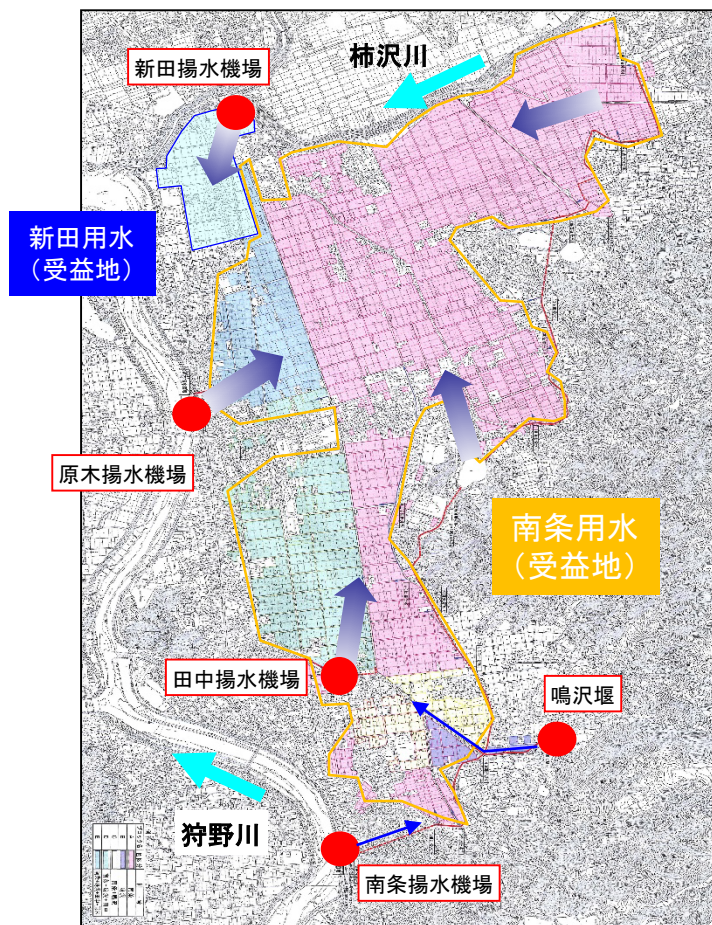
- \* 排水システムの改善
  - ・ 樋管の改良、内水河川の拡幅 等
- \* 内水河川の流域変更
  - ・ 堂川の流域を一部洞川の流域に変更
  - ・ 洞川の流量増分を四日町排水機場のポンプ増強により対応
- \* 内水対応の遊水地の整備
  - ・ 内水河川の堂川などの周辺に、ピークカットを可能とする遊水地を整備
- \* ため池の事前放流、田んぼダムの実施 等

### 【イメージ図】



- 地域の排水計画が定まらない中で、農地開発等により整備された水路網が、実態として大雨時の排水を担っている。
- こうした利水系統として整備された水路網では、自然な排水方向と異なる場合もあり、必ずしも大雨時の排水系統として有効に機能しているものではない。
- 排水系統の改善のためには、こうした利水系統の見直しも含めた検討が必要となる。

## ◆利水系統(南条用水・新田用水)



## ◆地盤高を考慮した自然な排水方向(イメージ)

